

皆殺しの天使 (1962)

EL ANGEL EXTERMINADOR
THE EXTERMINATING ANGEL

メディア 映画
ジャンル サスペンス ドラマ コメディ
製作国 メキシコ
色彩 B&W
時間 95分
初公開日 1981/08/01
公開情報 フランス映画社
リバイバル 2017/12/23 [アイ・ヴィー・シー]

【解説】

より不条理に没入していく後期作品の魁ともなった、ブニュエルのメキシコ時代最大の問題作。貴族の館にパーティで集った名士たちが何故かそこから出られなくなり、人間の本能を剥き出し合って醜い争いを始めるという、痛烈なブルジョワ批判が込められている。十数人もいた召使たちが宴の支度を終えるや、執事フリオを残して、そそくさと立ち去った広大なノビレの屋敷。夫妻の招きで、オペラ帰りの客たち、歌手のシルビアやピアニスト、指揮者らが立ち寄って和やかな歓談が始まるのだが、それも束の間。なぜなら、誰一人として例外なくそこから帰れなくなってしまったのだ。ワルクューレと呼ばれる鉄の処女レシチア（S・ピナル）を狂言回しに、彼らの狂騒は醜悪を極め、何日も閉じ込められる中、食糧の奪い合いもあった。そして自分たちのお喋りが同じ繰り返言だと気づいた後、脱出も叶うのだが……。館の中の彼らを心配して集まる親族や友人たち、軍隊までも出動しての“外部”と内側の騒乱の対比がおかしい。真に謎めいてエネルギー溢れる、シュールレアリズム喜劇の怪作だ。

【クレジット】

監督	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
原案	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
	ルイス・アルコリサ	Luis Alcoriza
脚本	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
撮影	ガブリエル・フィゲロア	Gabriel Figueroa
音楽	ラウル・ラヴィスタ	Raul Lavista
出演	シルヴィア・ピナル	Sylvia Pinal
	エンリケ・ランバル	
	ルシー・カジャルド	
	エンリケ・G・アルバレス	